

県高校ハンド

ハンドボールの第47回県高校選手権大会最終日は30日、八重瀬町東風平運動公園体育館で男女の決勝までを行い、男子は決勝で興南がコザを44-25で破って6年連続28度目の栄冠に輝いた。女子是那覇西が陽明を31-21で下して4年連続7度目の頂点に立った。

【男子】

▽連決勝
興南 34 具
コザ 29 22 那覇西

▽決勝

興南 44 21 8
23 17 25
コザ

【女子】

▽連決勝
陽明 24 20 浦添
那覇西 34 16 21
▽決勝
那覇西 31 15 10
16 11 10
陽明

興南V6

厚い層コザを圧倒

男子

男子決勝は国体メンバー3人を擁する興南が序盤からコザを圧倒し44-25で快勝した。ベンチ入りメンバー16人中14人が得点し、層の厚さを見せた。

前半、宮城護と系数卓朗がパスカットからの速攻などで4連続得点すると、コザはたまたまずタイムアウト。勢いに乗る興南は、糸数のロングシュートと伊波宗紘の技ありシュートでさらに得点を重ね、一気に突き放した。

21-8で折り返すと、後半は1年生中心の布陣で経験を積ませた。「自信がつけば、チーム内で競争し高き締めたい」と気を引

いレベルで練習ができる」と黒島宣昭監督。メンタル面では物足りなさを感じたようで「気迫で負けないように、強い意志を持って試合に臨んでほしい」と課題を挙げた。

最多の5得点でチームを引っ張った黒島誠主将は準決勝序盤での苦戦を反省。「決勝では前半から向かっていこうと、全員で声を出して」と気迫で流れを呼びこみ、「勝ててうれしい」と新チームの好スタートを喜んだ。4得点の宮城はシュートで終わるように心掛けたのがよかった。次からは「打倒興南」で向かってくる。しっかりと練習して、また優勝したい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

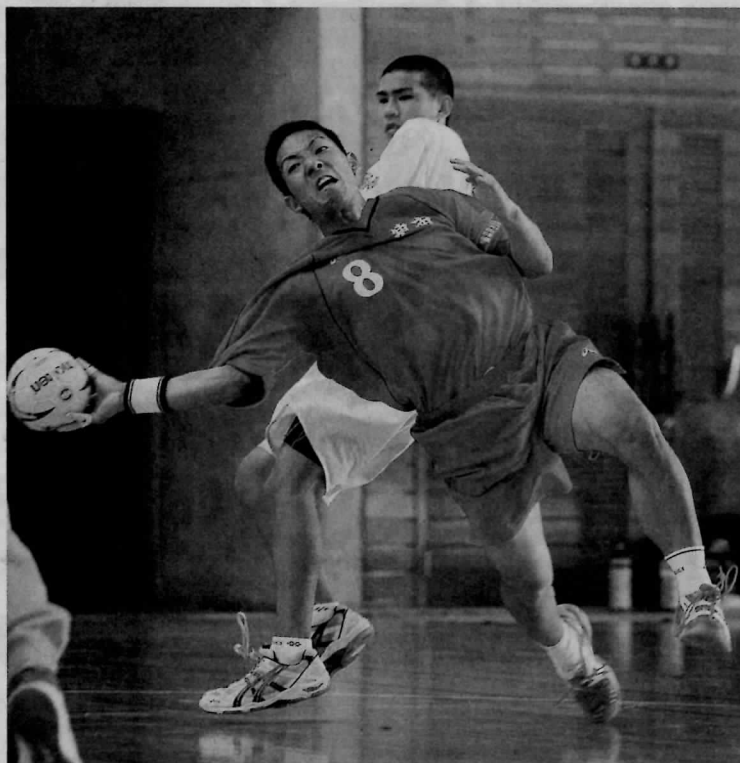
き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引

き締めたい」と気を引



男子決勝 興南-コザ 前半、興南の伊波宗紘が体勢を崩しながら11点目のゴールを決める。八重瀬町東風平運動公園体育館（城間陽介撮影）

積極守備で主導権

女子

女子決勝是那覇西がスタミナ勝ちで陽明を31-21で退け、4連覇を果たした。

序盤は互いに点を取り合

ったが、那覇西は前衛を高い位置に置く積極的なディフェンスで相手のミス誘い、速攻から崩した。

前半14分すぎに渡久地美音の速攻で2点リードすると、中地杏莉のロングシュートや、玉城令也（れいあ）主将、金城夏海の速攻など、5連続得点で主導権を握った。

5点差で迎えた後半の立

す。

す。

ち上がりは、陽明の動きが鈍くなったのを逃さず、3連続得点でリードを広げ、危なげなかった。

玉城主将は「足を動かすことが60分通してきた。練習してきたことを試合で出せて、ほっとした」と安堵（あんど）の表情。6得点と活躍した渡久地は「たくさん課題が見えた。11月の新人戦までに修正したい」と成長を誓った。

下地保監督も「きょうは走り勝ち」と選手らの粘りを好評価。その上で「ミスも多かった。最低でもシュートで終わるようにしたい」と、きょうを上を目指

す。

す。

す。

す。

す。

す。



女子決勝 那覇西-陽明 後半、那覇西の與儀素子が23点目のシュートを決める

那覇西V4